

professional player of Omaezaki



Minako Mori

Takara Ishii

Ryu Noguchi

Hayata Ishii

Motoko Sato

Takafumi Noguchi



SPICARE® OMAEZAKI JAPAN CUP

ウインドサーフィンの2つの国際組織「PWA」と「IWT」は、それぞれ独自のツアーを開催してきた。今回、「真の世界チャンピオンになりたい」という選手たちの思いが実現し、2023年から各大会で獲得したポイントが統一されることとなった。その口火を切る第1戦がウインドサーフィンの聖地・御前崎で開催された。



市内プロ選手の活躍

石井 孝良プロ	Men's 優勝
石井 颯太プロ	Youth U-20 優勝
野口 颯プロ	Youth U-20 2位
佐藤 素子プロ	Women's 優勝



1_ ジェイク・シェダウェイ選手のターン / 2_ パード・ロディガー選手のジャンピング / 3_ マーク・パレ選手のターン / 4_ IWTの旗を目印にヒートを控える選手が集まる / 5_ アントワン・マーティン選手のジャンピング / 6_ 15日に参加選手6人が御前崎小学校を訪問し、4~6年生と交流した / 7_ 選手らによるビーチクリーン / 8_ プロ選手と観客らとの交流会やサイン会も開かれた。サインしてもらう運営ボランティアの藤枝明誠高等学校生徒 / 9_ 表彰を受けるMen'sで優勝した選手 / 10_ 17日にはエキシビジョンマッチが開催された。

2022PWA年間チャンピオン
マルシリオ・ブラウン



※風と波のコンディションが整わなかったため、プロメンスはベスト8までで大会を中止。石井孝良プロ含む8人が同率優勝となりました。

写真協力：後藤俊夫

プロメンスで優勝したマルシリオ・ブラウン選手は、「御前崎の海のコンディションは世界でも有数。また御前崎でプレイしたい」と話しました。

沸かせました。

ウインドサーフィンは、サーフボードの上にセイル(帆)が付いていて、風を動力源とするマリンスポーツ。制限時間内に風や波に乗り、技の精度や力強さを競います。選手は渾身のパフォーマンスを披露し、会場を

沸かせました。国際ツアーを3年ぶりに御前崎で開催。ウインドサーフィンの国際大会「スピケア御前崎ジャパンカップ」が、3月16日から21日まで御前崎ロングビーチで開催されました。同大会にはプロ、マスター、ジュニア、女子の4部門に国内外合わせて60人が出場しました。



×

